日本漢方交流会 学術部主催

第14回 冬期合宿講習会

ご 案 内

テーマ：『漢方医薬学の実践』

日　　時：令和4年 1月 9，10日（日、月 連休）１泊２日

場　　所：“ホテルビナリオ嵯峨嵐山”（旧コミュニティ嵯峨野）
京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4　TEL（075)871-9711
最寄り駅：JR山陰線『 嵯峨嵐山駅 』

費　　用：交流会会員　　１万８千円（１泊４食付）
一　　般　　２万１千円（１泊４食付）

定　　員：６５名

対　　象：薬剤師、医師、歯科医師、鍼灸師、それらの学生、登録販売者

講　　師：日本漢方交流会　師範　　奥村 裕一 先生
＊漢方薬生薬認定薬剤師制度（必須研修 ６単位 予定）

COVID-19の拡大のために、社会生活が抑圧され、各催事が中止、または延期の方向になっております。そのような社会状況を注視しておりました為に、第14回冬季合宿講習会のご案内が遅くなりました。

4度目の緊急事態宣言が発令され、医療現場が逼迫した状況の中で、発熱しても医療機関にかかる事も出来ず、自宅で待機している患者様も多くなっております。又、医師も心身ともに疲弊し危機的な状況になっているご様子です。それらの社会的な現象を鑑み、薬系漢方家が「未病を治す」ことにより患者数を減らし、また金匱要略の「痰飲欬嗽の病」に記載されているように、胸上の水を捌くことにより、治療効果を上げ、この社会情勢の緩和に役立つことが出来ると考えております。重要な必要性を感じ冬季合宿講習会を開催いたします。我々は不安に押しつぶされそうになっている国民を救うことができる医療者です。医療者個人の力量に差はありますが、未病を治すことは漢方を学習している限り、簡単に身に付き、地域社会に貢献できます。補習の時間には、未病を治す為に重要な日本の風土に根付いた養生法を詳しくご教授させていただきます。

今回の講師の奥村裕一先生は漢方歴も長く、臨床経験が豊富な先生です。ご講義の中でコロナ様症状の治療経験もお示し下さいます。未病を治す事が出来る医療者をめざす強いお気持ちでご参加下さい。クラスター発生予防の為に募集人数を削減しました。
皆様方の是非のご参加をお待ち申し上げます。

申込郵便振替：口座番号 00920-4-156702　・　口座名義：日本漢方交流会 合宿講習会

連絡先　：　日本漢方交流会 学術部　須藤　朝代

FAX：075-314-7417　・ E-mail：nishikyougoku-yakkyoku@leto.eonet.ne.jp

研修単位シールが必要な方は申し込みの際、必ず薬剤師名簿登録番号をご記入ください。

＊宿泊部屋は主に２～３人部屋ですので、同室希望者がおありの方は振込用紙にご記入下さい。只、身体的理由で相部屋がご無理の方は、上記にFAX、又はメールにてご連絡下さい。ご相談に応じさせて頂きます。テキストを発送致しますので、振込用紙に住所をご記入ください。又、お振込頂きました参加費は返却できません。詳しい事、残席情報は、日本漢方交流会のホームページをご覧下さい。

プログラム

1日目

１０：００～		受付開始
１０：３０～１０：４０		日本漢方交流会会長　挨 拶
１０：４０～１２：００		『漢方医薬学の歴史』
１２：００～１３：００		昼　　食
１３：００～１５：００		『漢方医薬学の基礎』
１５：００～１５：３０		休　　憩
１５：３０～１７：００		『相談カードの取り方と証の基礎と活かし方』
１８：００～		夕　　食
２０：００～２２：００	希望者補習	①「未病を治す」薬系漢方家の役目 講師　須藤 朝代 ② 脈証の実習 ③「漢方医薬学」全体の質疑応答

2日目

９：３０～１２：００		『治療の実際』
１２：００～１３：００		昼　　食
１３：００～１５：４５		『症例検討』 ①『断食にても難治の皮膚病克服と、新型コロナ疑似症状の速治例』 ②『胃潰瘍から、C型肝炎、Ｉ型・糖尿病、肝硬変、諸癌、腹水・嘔吐で死を覚悟の方、一日数回のインスリン注射生活からの自由と健康達成へ』